

三重県国民平和行進ニュース 第3号

2014年6月11日(水)

発行:原水爆禁止世界大会三重県実行委員会 059-228-5854

(紀北原水協からの報告)

- ◎ 8日夕刻、熊野からの行進団を尾鷲市矢の浜で出迎え。児童公園までの約2kmを23人で行進しました。
- ◎ 翌9日、紀州路の平和行進二日目。曇り空で湿気あり。尾鷲市役所前での出発式・行進には7団体(国公1、コープみえ2、医療生協2、紀北平和委2、新婦人2、年金者組合3、共産党6、他・個人15)のべ33人が参加。出発式では「和歌山→広島コース」の通し行進者の五十嵐さん、県内通し行進者の辻井さんが挨拶しました。一ヵ月間、和歌山を歩いてこられた五十嵐さんは疲れもみせず、集まった人だちを励ます。
- ◎ 岩田昭人市長のメッセージ・挨拶をいただく。高村泰徳議長はアピール署名に賛同。協賛金は各1万円。
- ◎ 落合さんと参加した紀北の実行委員会で聞いたことです。豊かな自然、全国屈指の降水量と篤い人情の地、尾鷲市も青年層の流出が止まらず、3万2千(1975年)いた人口も今や2万を切り、都市機能が果たせなくなってきているとか。住民や自治体の悩みは深い。平和行進の後継者づくりも苦勞されています。そんな街ですが、今年も平和行進の火を絶やすまいと、市職や国交労組も含め、みなさんが行進に集まってこられます。
- ◎ 同市板場町まで23人で歩いたあと、宣伝カーで海山総合支所へ。ここでは支所の職員16人が出迎えてくれ、一同感激。参加者は18人。移動後、紀北消防署からJR紀伊長島駅まで歩いて行進。お昼の紀北町役場前では尾上寿一町長からメッセージをいただきました。協賛金はそれぞれ1万円。参加者はここも18人。海山支所を除き、尾鷲市も紀北町も今年は職員のみなさんの出迎えが少なかったのが残念でした。
- ◎ しかし沿道からは少なくない住民が顔を出し、行進団を出迎えてくれました。紀伊長島駅で1時30分解散。ここまで約30km。通し行進者を乗せた宣伝カーは一路次の行進地、伊勢市へ。ここで五十嵐、辻井の両氏はホテルに泊まり、荒木、鈴木の両氏は所用でいったん帰宅。
- ◎ 熊野市の新聞社「紀南新報」が8日の平和行進の模様を掲載し、落合宅にも記事を送っていただきました。県庁記者クラブ25社にも取材要請をしましたので、みなさんの所にも取材があると思います。

(アピール署名 FAX で)

尾鷲市からは中井町在住の方から2筆のアピール署名がさっそくファクスで県事務所に送られてきました。行進団が沿道でまいたチラシです。御浜町在住の女性の方からは署名用紙をたくさん送ってほしいとの依頼もあり、さっそく送付。

- ※ アナログの行進アナウンス・テープが初日で切れてしまい、通し行進団、東紀州、伊勢のみなさんにご迷惑をおかけしました。10日のお昼に届いたばかりの新テープを近鉄明星駅前まで運びましたが、落合さんはマイクでの訴えでたいへんでした。今後は予備テープを準備します。
- ※ 「行進ニュース」の発行が遅れています。事務局が県内を東奔西走していて手が足りません。日報はできるだけ早めに FAX を!
- ※ 世界大会・平和行進第2回三重県実行委員会を7月4日(金)の2時から開きます。
於・津リージョンプラザ第3会議室(2階)。一部に10日とお伝えしましたが、場所が取れないため4日に変更しました。万障お繰り合わせのうえご参加お願いします。